

2024年度 社会福祉法人つばみ会 滝野川北保育園 保育自己評価表

【ねらい】

保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、保育所の望ましい管理運営するため、今年度の本書の保育、教育全般等を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かすための本表を活用する。

1. 保育理念・目標・計画・評価

内容	反省・評価
1 保育士一人ひとりが園の方針を理解している	セルフチェックを行いながら、子どもの人権や権利について理解を深めている。クラス会議を中心に子どものケース会議を行い子ども特性は発達を共有している。 法人全体研修や階層別研修などのでることで個々のスキルアップを目指している。年間、月案、週日案等の作成を立てた上で反省評価を行い翌月案に反映している。
2 保育方針や目標に基づいて、クラスの年間計画を立てている	
3 子ども一人ひとりの主体性を大切に保育をしている	
4 各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり、個々の発達にも留意したものを作成している	
5 保育者は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている	

2. 保育の内容

内容	反省・評価
1 子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮し、保育を行っている	指導案やクラス会議で月の目標を定め、ねらいを確認している。子どもから出た発言の中から焼き芋や温泉ごっこなど一人ひとりの声に注目し、実体験を重ねられるように工夫をしている。 担任以外の職員などもクラスの対応に入ること、個別の対応や想いを受け止めるようにしている。 事故防止委員会にてヒヤリハットの共有や点検箇所におけるリスト化を行い安全に過ごせるよう努めている。 個人面談で家庭環境とのすり合わせに努め、日々の様子を共有することで個々の成長を考えるようにしている。 整理整頓に意識を職員が向けられるように会議や日常の中でも指導を行う。また、清潔な環境を整えることができるよう、掃除のチェックシートを活用している。 担任間でミーティングを行い、子どもの出来事や成長等を共有し連携を図っている。他学年の子どもの特性についても会議や連絡機能ツールを通じて共有している。
2 一人ひとりの思いを受け止め、その思いをできるだけ実現しようと努めている	
3 子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている	
4 子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている	
5 身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	
6 保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室作りを心がけている	
7 行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している	
8 職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている	

3. 保育所の組織・役割分担

内容	反省・評価
1 豊かな集団育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	クラス会議を行う中で、方向性を定めていき、理念方針を基に一人ひとりの子どもを大切にしていけるための提案や実践を行っている。研修への参加を積極的に行えるよう努め、研修報告(発表)を行う時間を持つことにした。一方で時間が取れず、レポート報告の共有にとどまってしまうことも多々あった為、職員のアウトプットを行う場としてより積極的に取り入れていくことが課題として残る。 業務の見える化を行い、行事の割り振り等を行い、行動指針を掲示している。一方で会議中での発言には偏りがある為、誰でも安心して発言がしやすい環境を作り上げることを目指していきたい。 災害計画や避難訓練の実行を月に1回行い、避難方法や経路、子どもの行動確認等を行っている。豪雨による浸水被害後、排水管の現地調査を行い、対策工事を行った。
2 研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる	
3 研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に活かされている	
4 職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	
5 保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている	
6 各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている	
7 各職員が職員会議等で、必要と思う質問や意見を発現することができている	
8 火災・地震・不審者進入等の危機管理に努めている	

4. 家庭・地域社会・情報

内容	反省・評価
1 保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心がけている	接遇研修を行い、日常での挨拶や言葉遣い等について研修を行った。また夕方のお迎え対応についても実践形式でロールプレイングを行い、保護者が楽しみにできるようなエピソードトークやできるようになったことを共有できるようにしている。またICTの写真機能を使い一日の出来事に合わせた写真をアップし共有するよう努めている。保育所体験、小学生ボランティアの受け入れ、子育て支援の充実と地域交流を広げている。地域住民と連携を図り地域神社で行っている芋ほり活動に参加する。
2 送迎時に子どもの姿を保護者に伝えている	
3 保護者の子どもの伸びているところや課題を伝える等、連携をとっている	
4 園だより、クラスだより、保健だより、給食だより、掲示板、ブログ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	
5 地域や保護者の意見を保育や運営に反映している	

5. 事務管理・運用

内容	反省・評価
1 個人記録簿は、適切に記載し、整理管理できている	個人情報保護マニュアルや情報セキュリティマニュアルを基に適切に管理している。 園内での出来事を外部で話さないよう指導をしている。 個人情報に係る書類や現金は、金庫や鍵付きの書庫で管理を行っている。出納や発注について出納者、出納責任者と職員を分け適切な管理を行っている。また、経理規定に沿って適切に処理を行う。
2 園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている	
3 金銭などを取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている	